那覇市の消費者物価指数 (令和5年平均)

1 概況

- (1) 総合指数は令和2年を100として106.8となり、前年比で3.8%の上昇となった。
- (2) 生鮮食品を除く総合指数は106.2となり、前年比で3.6%の上昇となった。

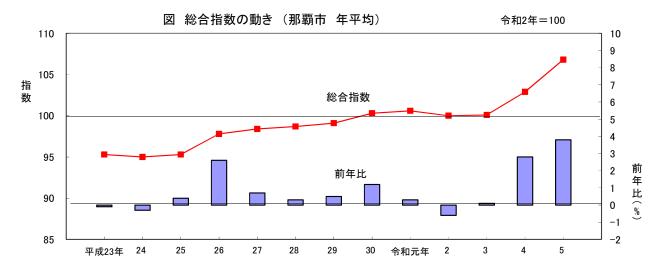


表1 総合及び生鮮食品を除く総合の指数と前年比 (那覇市 年平均)

令和2年=100

年	(平成•令和)			平成24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年
総	中	指	数	95.0	95.3	97.8	98.4	98.7	99.1	100.3	100.6	100.0	100.1	102.9	106.8
गिर्दे		前 (年 比%	▲ 0.3	0.4	2.6	0.7	0.3	0.5	1.2	0.3	▲ 0.6	0.1	2.8	3.8
生鮮:		指	数	95.7	96.1	98.3	98.7	98.7	99.4	100.4	100.8	100.0	100.1	102.5	106.2
総	r 合	前 (年比%)	▲ 0.2	0.4	2.3	0.4	0.0	0.7	1.0	0.5	▲ 0.8	0.1	2.5	3.6

(注) ▲はマイナスを表す

2 10大費目指数の動向

表2 10大費目指数、前年比及び寄与度 (那覇市 年平均)

		総合	生鮮食品を除く総合		生 (食) (品	住 居		家 具・家事用品	被服及び履物		交 通 · 通 信	教 育	教 養 娯 楽	諸雑費
指	数	106.8	106.2	115.5	118.8	102.6	107.6	115.6	107.7	103.1	94.1	101.1	106.0	104.1
	∓比	3.8	3.6	9.1	7.1	0.6	▲ 6.1	11.1	4.3	2.3	2.8	0.6	3.5	1.8
寄与	9度	3.75	3.41	2.81	0.34	0.14	▲ 0.56	0.45	0.12	0.10	0.32	0.01	0.25	0.10

(注) ▲はマイナスを表す

総合指数の前年比が3.8%の上昇となった内訳を寄与度でみると、食料、家具・家事用品などが要因となっている。なお、光熱・水道は下落した。

〔主な内訳〕 10大費目 中分類、前年比(寄与度)

上昇 食料 ••• 調理食品 10.2%(0.48)

家具·家事用品 · · · 家事用消耗品 15.2% (0.21)

下落 光熱・水道 ・・・ 電気代 -9.9%(-0.48)

沖縄県の消費者物価指数(令和5年平均)

1 概況

- (1) 総合指数は令和2年を100として106.6となり、前年比で3.7%の上昇となった。
- (2) 生鮮食品を除く総合指数は106.1となり、前年比で3.6%の上昇となった。

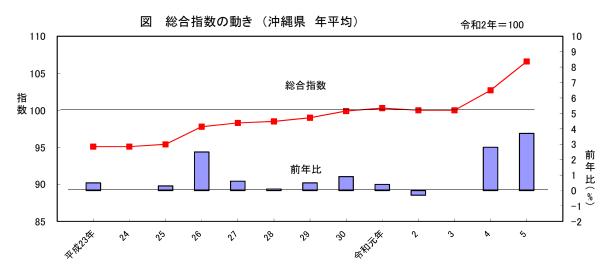


表1 総合及び生鮮食品を除く総合の指数と前年比 (沖縄県 年平均)

令和2年=100

年	(平	(平成•令和)				25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年
総	_	指	***	女	95.1	95.4	97.8	98.3	98.5	99.0	99.9	100.3	100.0	100.0	102.7	106.6
祕	合	前 (年」 %	七)	0.0	0.3	2.5	0.6	0.1	0.5	0.9	0.4	▲ 0.3	0.0	2.8	3.7
	食品	指	***	女	95.9	96.2	98.4	98.7	98.6	99.2	100.0	100.5	100.0	100.0	102.5	106.1
総	除く 合	前 (年」 %	七)	0.0	0.3	2.3	0.2	▲ 0.1	0.6	0.8	0.5	▲ 0.5	0.0	2.5	3.6

(注) ▲はマイナスを表す(以下同じ)

2 10大費目指数の動向

表2 10大費目指数、前年比及び寄与度 (沖縄県 年平均)

		総		生鮮食品	食	料生		住 居					服						教 育	教		諸杂	推 費
				を除く総合		食	1 品		水	迫	家事用品	υ	復!	物	医	療	픨	信		娯	楽		
指	数	10	06.6	106.1	115	.5	115.4	101.6		108.5	115.0		107	.9	1	102.7		94.8	101.1		106.0	1	04.5
	年比 %)		3.7	3.6	9	.2	5.8	0.5		▲ 5.7	10.7		4	1.4		2.0		2.4	0.9		3.2		2.0
寄-	ラ 度	3.70		3.43	2.7	8	0.27	0.11	4	0.53	0.46		0.	13		0.08		0.31	0.02		0.24		0.10

総合指数の前年比が3.7%の上昇となった内訳を寄与度でみると、食料、家具・家事用品などが要因となっている。 なお、光熱・水道は下落した。

〔主な内訳〕 10大費目 中分類、前年比(寄与度)

上昇 食料 … 調理食品 10.4%(0.47)

家具·家事用品 ··· 家事用消耗品 12.5%(0.18)

下落 光熱・水道 ・・・ 電気代 -10.0%(-0.52)

